

# 災害時における丸の内ビジョンの対応について

2011年 6月13日資料

**1. 丸の内ビジョン概要**  2p

**2. 震災発生時の丸の内ビジョンの対応**  4p

**3. 震災時の様子**  5p

**4. 災害時に於ける運営体制**  6p

# 1. 丸の内ビジョン概要①

## 概要

- 開始** → 2002年9月の丸ビル開業と同時に、丸の内の街メディアとして運営を開始。
- ネットワーク** → 当時世界初の試みとして、ハイビジョン映像(HD)をIPマルチキャストで丸の内・大手町・有楽町エリアへ配信。
- 放送センター** → 丸ビル7階に設置。丸の内ダイレクトアクセスの光ファイバー網を経由して、ハイビジョン対応の高画質で放映。
- 情報内容** → 内蔵記憶装置に多数の表示情報を保持することで、必要に応じて内容の切り替えを行うなど、多様な映像情報を展開することができる。
- モニター数** → 大丸有エリアに合計79台のモニターを設置(2011年4月現在)

## 放映時間 他

- 放映時間** → 午前8時～午後10時(毎日14時間)
- 放映場所** → 大丸有エリアに設置のモニターに放映
- 放映内容** →
  - ①ニュースや天気予報などの利便情報
  - ②災害時の防災放送(地震、台風等)
  - ③エリア情報(大丸有地区の店舗、イベント案内、環境映像 等)
  - ④広告(企業CM等)
  - ⑤イベント等のライブ放送

## 運営方法

- 事業主体** → 三菱地所(株)
- 運営主体** → 三菱地所ビルマネジメント(株)に委託の上、オペレーション業務は専門業者(株イエロー)に再委託



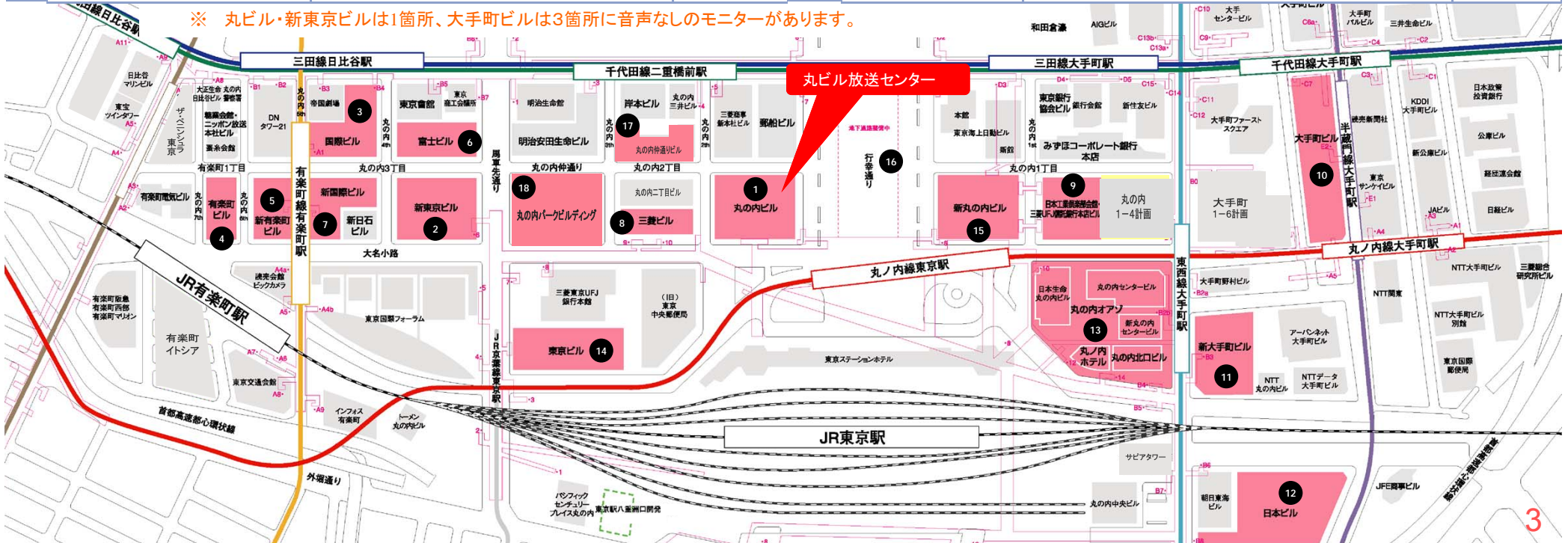
# 1. 丸の内ビジョン概要②

◆◆◆ Marunouchi Vision ◆◆◆

(各ビル設置状況 2011年4月現在計79台)

ビル名	設置台数	音声	ビル名	設置台数	音声
丸ビル	15 (42インチ 13 / 65インチ 1 / 大型 166LED 1)	○※	大手町ビル	9 (42インチ 8 / 37インチ 1)	○※
新東京ビル	4 (65インチ 1 / 42インチ 3)	○※	新大手町ビル	3 (42インチ)	○
国際ビル	2 (42インチ)	○	日本ビル	2 (42インチ)	○
有楽町ビル	2 (42インチ)	○	丸の内オアゾ	3 (42インチ)	○
新有楽町ビル	3 (42インチ)	○	東京ビル	1 (42インチ)	○
富士ビル	1 (42インチ)	○	新丸ビル	21 (32インチ)	○
新国際ビル	1 (42インチ)	○	行幸地下通路	2 (42インチ)	○
三菱ビル	2 (42インチ)	○	丸の内仲通りビル	1 (65インチ)	○
三菱UFJ信託銀行本店ビル	1 (42インチ)	○	丸の内パークビル	6 (65インチ, 46インチ, 42インチ, 37インチ 各1, 32インチ 2)	○

※ 丸ビル・新東京ビルは1箇所、大手町ビルは3箇所に音声なしのモニターがあります。



## 2. 震災発生時の丸の内ビジョンの対応①

3月11日（金） 14:46 宮城県北部で震度7の地震発生

地震発生9分後

14:55

- NHK緊急放送への切替完了（同放送を翌朝まで休止することなく放映）  
モニター周辺状況 →写真有（次ページ参照）

発生後交通機関が麻痺していた為、翌日の午前中まではかなり多くの人々がビル内に滞留しており、情報源として放送モニターを視聴している人が多かった。

12日（土）

- NHK放送を終日放映

13日（日）

～

- NHK放送を放映

18日（金）

19日（土）

～

- NHKが一部通常放送に戻した為、NHK放送の地震関連ニュースを放送
- 上記以外の番組の際は、共同通信のニュース及び天気予報（配信契約締結）を差込んで放映

21日（月）

22日（火）

～

- 節電対応開始（全79台の内、約3割の24台のモニター電源OFF）



# 3. 震災時の様子

## ■各モニター周辺の様子



A 丸ビル 1F マルキューブ  
3月11日 22:00頃 撮影

B 大手町ビル 1F 中央エントランス  
3月11日 16:00頃 撮影

C 新丸ビル B1F EVホール  
3月11日 22:00頃 撮影

D 丸ビル B1F商業ゾーン 65インチ前  
3月11日 22:00頃 撮影



## 4. 災害時に於ける運営体制

### ■【東日本大震災】非常時対応がスムーズに行えた背景

#### ハード面

#### ①ストリーミング配信可能なシステムを整備

・通常放送ではコンテンツを事前に蓄積配信しているが、切り替えによりストリーミング配信をすることが可能なシステムを搭載

#### ②専用回線によるインフラネットワークを整備

・丸の内ダイレクトアクセスと専用回線契約し、通信環境の安定性を確保

#### ソフト面

#### ③災害時マニュアルの作成 ----- 災害時(=東京都内及び3県(埼玉・神奈川・千葉)にて以下の緊急時)にNHK放送に切替えるための運営上のルール整備

#### ④災害マニュアルに基づいた訓練の定期的な実施

・毎年9月1日(防災の日)に実施

#### ⑤その他の災害発生時

・地震以外の台風・集中豪雨などにより大規模な交通障害発生時などの場合も、上記同様の対応を行う。